



[小山町生活支援サポーター養成研修](#)

[小山町生活支援サポーター養成研修](#)

・小山町では、平成29年4月から新しい介護予防・日常生活支援総合事業における訪問型サービスA(緩和された基準によるサービス)の事業が始まりました。そこで、この事業に従事する者(従事する予定がある者を含む。)等を対象(概ね、18歳から80歳までの人)に、掃除、洗濯、調理、買い物支援その他生活支援のサービスを提供するうえで必要な一定程度の専門的な知識及び技能を習得することを目的に、この研修が開催されました。



[小山町生活支援サポーター養成研修](#)

[小山町生活支援サポーター養成研修](#)

・生活支援サポーター養成研修の受講生は、男性3名・女性6名の9名です。年齢は30代から70代と幅広く応募がありましたが、若い方も、経験を積まれた方も、今迄の人生経験で磨かれた特技など自信をもってお話しされていました。
 ・生活支援サポーター養成研修期間に受講生のお世話係「生活支援コーディネーター」3名の職員さんの紹介もありました。
 ・生活支援コーディネーターの役割は、要支援者のお困りごと(ニーズ)に対して、的確な情報、施設の案内、サービスの提供だと思えます。そのために生活支援コーディネーターは、常に社会福祉資源の開拓に努めるとのことです。



[小山町生活支援サポーター養成研修](#)

・開講式終了後の「介護保険制度のしくみ」を受講し、介護保険サービスを受けられない要支援者へのサポート体制、そのための人材育成が急務であることが分かり、「介護予防」の重要性と「生活支援」の必要性を改めて学びました。
 ・高齢者が施設に行かないで、住み慣れた地域で生活できるためには、生活支援サービスと高齢者自

身の社会参加が必要であり、元気な高齢者が生活支援の担い手として活躍することが期待されています。
そんな生活支援サポーターの皆様の実践活動取材させていただく機会を得られることを願っています。

沼津・北駿地区 生きがい特派員 福田和男